

既存の外観デザインを生かして2階建てを増築

神奈川県 N邸

■ツリーバイフォー住宅の2階建てを増築

家でも仕事をされるNさんは自宅に事務所スペースを造る計画を立てられました。当初は1部屋だけの増築計画でしたが、打ち合わせごとに夢が拡がり、2階も含めた大規模な増築となりました。「ツリーバイフォー住宅は増築しにくい」と思い込んでいたのでびっくり。しかも住んだまま工事ができ、満足のいくリフォームとなりました」と話されます。

■既存と増築の空間がスムーズにつながる

自宅の西側に、既存のアーリーアメリカンスタイルの外観を生かして2階建てが増築されました。1階には事務所とアトリエを新設。事務所専用の玄関も設置されました。アトリエが既存部分のリビングとつながり、スライディングドアを開放すると広々とした空間に。2階の増築部分に設けられたのは家族4人の収納ブースとご主人の趣味室、ルーフバルコニーです。収納ブースは既存部分のウォークインクローゼットとつながっています。

既存建物は適切な管理により良好な状態でしたが、外壁の塗装や屋根の葺替えなど、今後の10年を見越したメンテナンスを実施し、一部内装や設備も更新されました。

リフォームのプロが語る

2×4住宅への信頼感が大規模リフォームへつながる



三井ホーム株式会社
神奈川県オーナーサポート部
湘南リフォーム事業室
塩幡 裕子さん

この事例は、隣地の貸家を解体して敷地を拡張、住まいを増築するという大規模なリフォーム計画でした。N様が新築時からお住まいの外観を気に入っていたため、そのデザインを生かした増築・外構計画をご提案しました。増築工事は、居住されたまま行うこと、また既存部分に対して増築部分の面積が大きかったことから、接合部にエキスパンションを設けて、構造を別としました。新旧のラップサイディングの重ね幅を調整し、ジョイント部が目立たない工夫を施しています。建物の愛着をもって定期的にメンテナンスをされていた延長線上に、今回のリフォーム工事があったと実感しています。



③増築された2階に設けられたルーフバルコニー。収納ブースからも直接出入りできる。
④2階南西の角には釣りが趣味のご主人の部屋を増設。
⑤⑥2階北側に配置された家族4人それぞれの収納ブース。入り口にロールスクリーンが設置されている。



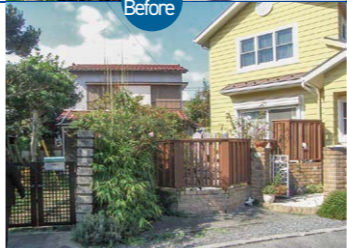
①既存住宅のリビングの西側に増築されたアトリエ。既存と増築の躯体をつないだ二重構造のため厚い壁になっている。造り付けの壁面収納の設置により部屋はスッキリと保てる。
②アトリエの北側は安定した光量を得るためハイサイドライトが設置された。明るい植物柄のアクセントクロスが貼られている。



増築された事務所スペースの応接室。ナチュラルウッド調のインテリアでまとめられている。



手前側(西側)が増築部分。事務所専用の玄関が新設された。玄関ポーチが既存住宅(奥)のリビング前のデッキとつながっている。



既存部分と増築部分(カバードポーチのある左側)が一体となった外観。既存の外壁と同じラップサイディングを採用し、ポーチ柱や庇で接合部が目立たない工夫がされた。

リフォーム前のN邸。正面の貸家を撤去して増築スペースにあてた。

After
Before

DATA

リフォーム年 / 2018年9月 築年数 / 18年
規模 / 2階建て
建物面積 / 1階132.77㎡、2階104.47㎡
増築面積 / 1階 54.16㎡、2階 33.56㎡
設計・施工 / 三井ホーム(株)